

～軽井沢町の“今”を伝える情報紙～

ボランティア情報

2014年
9・10月

発行 軽井沢町ボランティアセンター
〒389-0111 軽井沢町大字長倉 4844-1 木もれ陽の里
電話 45-8113 FAX 46-2116

http://www.ktvc.jp Email karu-vc@eco.ocn.ne.jp

広島市災害ボランティア本部より県外からのボランティア受付開始のお知らせ～第1報～

9月4日より広島県外からのボランティアを「団体」に限り下記の通り受付しています。

【参加条件】

- 団体でのボランティアは、10人以上でマイクロバスによる参加のみといたします。
- ご手配いただいたマイクロバス（29人以下）にて現地入りしていただきます。
- （多数の自家用車の受け入れができない状況にあります）
- 団体に1名、必ずリーダーを置いていただきます。
- 県内外共通団体申し込み様式をダウンロードし、事前（活動の3日前まで）に災害ボランティア本部にファックスにてお申し込みください。予約番号をお伝えします。
- 食事や宿泊先等の準備は、団体で自己完結していただきます。
- 参加ボランティア名簿をダウンロードし、活動の前日15時までに災害ボランティア本部にファックスにてお送りください。

【お問い合わせ先】

本件に関するお問い合わせは、以下の専用ダイヤルまでお願いします。
広島市災害ボランティア本部
団体ボランティア受付（県内外共通）
専用ダイヤル：080-2931-1742
専用FAX：082-831-5013
軽井沢町ボランティアセンターでも被災地での活動希望者へのオリエンテーションを行



～農医講演会 おしえてドクター!シリーズ vol.1～

あぼうとおる

「安保 徹 さん講演会」のお知らせ

病気にかからない強い体を作ろう！がテーマの講演会です。今回は免疫学が専門の安保徹さんをお招きして講演会を開催します。

（日時）9月17日（水）9時10分開場／9時30分開演

（会場）エコールみよた あつもりホール（託児はありませんが母子同室をご用意します）

（ミニ講演）

『地球のいのちをひとりひとりのいのち』

自然農法普及員 三浦 伸章さん

（主催）MOGURIN KARUIZAWA （共催）軽井沢町社会福祉協議会

（後援）軽井沢町・軽井沢町教育委員会

（申込み・問合せ）酒出（090-6523-1456）mog39@me.com

軽井沢町社会福祉協議会 軽井沢町ボランティアセンター（45-8113）

（費用）当日券1,800円（大人1名1,500円）

こんなことしてます！運営委員会！

ボランティアセンターにはセンターの運営と活動基盤を強化していくための委員さんが8名在籍しています。そこでどんな内容が話し合われているのかお伝えしていきます。

(開催日) 平成26年7月30日(水)～第3回～

—(要旨)—ボランティアセンターの運営について

*ボランティアセンターが運営委員会を設置して約10年。これまで下記の議論が過去の委員ともなされてきたが、今後の動向と委員会で議論された内容の発展形はどこにあるのか？

- ① 委員会は特定の領域のテーマを取り上げているのではなく、町内でボランティア地域活動が、住民全てのものとなりうる可能性を常に希求している。
- ② 現在のセンターの物理的デメリットが背景にある、PR戦略の低下。
- ③ 住民の積極的なセンター利用は、イコール軽井沢町民のあらゆる活動基盤やソフト対策に間接的ではあるが、大きく影響する。

専属のコーディネーターの役割も今まで以上に幅広く、「生活」という極めて多分野で底の深い知識と技術が求められると感じています。そして、自分の立場や役割を認識していることを前提に、他業種異分野のみなさんとの意見交換や協働が求められていることを新たにしました。

ボランティア活動費助成事業審査会が開催されました

第3.4回目となる助成事業の審査会が下記の通り開催されました。この事業はボランティアセンターに登録されている全ての団体を対象に毎年行われているもので、申請団体の活動内容に応じた助成金審査会を通じて決定し、4回目の8月の審査会で全ての審査会が終了しました

第3回審査会：平成26年7月23日(水)

審査団体：2団体(軽井沢サクラソウ会議・Dogs BOND)

第4回審査会：平成26年8月20日(水)

審査団体：5団体(軽井沢少年少女合唱団・軽井沢いきいき子どもネットワーク
SO軽井沢・ほっとここあ・SLC手のひらの会)

どんなことしてるグループかしら！？

軽井沢サクラソウ会議

町内のサクラソウ保護・自然環境保護活動を通じた新しい町づくりを進めています。

*dogs Bond*ドッグズボンド

犬の仕付方から、身近な犬のお世話の方法まで詳しく知っているグループ。ふるさと公園のドッグランの整備を行っています。

軽井沢少年少女合唱団

大賀ホールや借宿公民館で練習を重ね、各種イベントに積極的に参加をしているグループ。

軽井沢いきいき子どもネットワーク

町内の子育て支援に関する広報誌を中心に、中央公民館で毎週行う赤ちゃんサロンも好評です。

SO軽井沢

知的障がい者の社会参加に向けた各種スポーツ活動を展開。皆働社会を目指して頑張っています。

ほっとここあ

様々な社会的な出来事を、誰でもわかりやすい寸劇や紙芝居にしてる、パフォーマンス集団です。

SLC手のひらの会

聴覚障がい者の基本的な理解を進めるために、毎週火曜日に勉強会を実施。メンバー募集中！

〇〇報告！お孫さんといっしょ！〇〇

軽井沢町にある歴史的な名勝・景勝地を訪ねる探訪ツアーを行いました。
当日は雨に降られてしまいました。学びを深めることができました。

ショー記念礼拝堂とショーハウスをガイドしてもらいました。私自身も初めてショーハウスの見学！
軽井沢の明治時代を物語る写真や展示物に参加者もガイドさんに感慨深く質問をしていました。

続いて、旧三笠ホテル（写真下）。昭和40年代まで営業していたと聞いてまたびっくり！歴史的な建造物



に触れられた瞬間でした。ちょっとマニアックな話ですが、日露戦争時T字ターンで見事ロシアのバルチック艦隊を破った東郷平八郎元帥の乗船していた戦艦も三笠と言いました。ちょっと気になってガイドさんに伺うと、なんとこの軽井沢町の三笠という地名そのものが戦艦の名前になっていたというではありませんか！歴史背景と時代背景が近かったのが気になっていたのですが、ちょっとスッキリしました（笑）。

ちょっと耳より情報 part 3

軽井沢町内の“ローカルネタ”をご紹介します！始めよう！

ローカルコミュニケーション！

(9月)

- ・10日(水) 信州お手玉教室 木もれ陽の里 10:00～
- ・毎週木曜日～軽井沢いきいき子どもネットワークの赤ちゃんサロン
13:30～15:00 軽井沢町中央公民館 和室
(参加希望はボランティアセンターまで要問合せ)
- ・15日(月) 「やねだん」から学ぶ地域再生を考える会
千曲市更埴文化会館 10:30～12:30
主催 JCI 日本青年会議所 北陸信越地区長野ブロック協議会
- ・17日(水) 安保徹講演会 with 三浦伸章ミニ講演会
エコールみよたあつもりホール 9:30開演 主催 MOGURIN KARUIZAWA
共催 軽井沢町ボランティアセンター
当日券 1,800円 (前売り券 1,500円 社協でも販売中)
- ・27日(土) 軽井沢町総合防災訓練
- ・28日(日) 第10回ふれあい祭り 10:00～ 中央公民館駐車場他

(10月)

- ・5日(日) しぜん・みらい・かるいざわシンポジウム 中央公民館大講堂
基調講演+シンポジウム 主催 軽井沢サクラソウ会議 参加費 500円
12:30～16:30 (開場 12:00)

- ・13日（月）小瀬林道散策 or 離山登山 10:00 集合は中央公民館
主催 いまいき子どもネットワーク（46-1718）
- ・15日（水）熊野皇太神社秋の祭典（お神楽奉納）旧軽井沢諏訪神社 11:00～
- ・18日（土）ユニバーサルスポーツ祭 風越総合体育館 9:30 集合
- ・19日（日）家族とできるくらしの防災 老人福祉センター 10:00～14:00
講演会＋ワークショップ＋子供向けプログラム
当日券800円（前売り券600円）※平安堂軽井沢店・佐久店で販売
主催 びば～す 共催 軽井沢町ボランティアセンター

知ってる！？ 意外と知らない“あれ・それ”

* 「やねだん」って？

過疎の町から一転、人口が増加した鹿児島県鹿屋市の柳谷地区。休耕田からオリジナル芋焼酎を生み出し、住民にはその売上金からボーナスを支給。アーティストを移住させて、文化的にも発展し人口増加へ！そんな夢見たいな場所が日本にあるのです！

そのリーダーが地区の自治公民館長の豊重哲郎さん。「感動が人を連結させる」をモットーに、役割を押し付けず自らが活発な行動を示すことによって、当初無関心だった地域住民を徐々に「やる気」あふれる活動者にしていく行程は、全国の自治体や関係者からも注目を浴びています。聴いてみませんか、「やれば変わる！」のエッセンスを！

《シリーズ》ボランティアってこんなこと！？



さて、今回もボランティアとは

恋愛のようなものと話す早瀬さんの言葉をお借りします。

♡とともに、止めるとき、別れるときが辛く、悲しい♡

恋愛もボランティアも対象（者）があつたのこと。一心に注ぎ込んでいた情熱が、何らかの事情で取り組めない、あきらめることとなった時、辛くて悲しいという表現ですね。

エンプティネスシンドローム（空の巣症候群）という言葉もあるくらい、ある特定の活動に専念した結果、それが終結を迎えるとやる気も覇気もなくなるという現象が起きます。恋愛もボランティア・地域活動も共通して言えるのは、心から打ち込むことのできる相手（対象）がいて「幸せ」を感じることができるといふことでしょうか？

最後までお読みくださりありがとうございました。次回は11月に発行です。